平成24年度事務事業実績評価表【政策・経常共通】

政策No.	1	施策No.	12	事業No.	27 － 1

事務事業名	EMCシンポジウム開催事業	会計	一般会計				
		事業種別	政策	開始	12	終了	24
課等名	工業課	係等名	工業振興係				

基本計画上の位置づけ			
	政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり
	施策	12	未来を見据えた地域産業の魅力、強み、人材の強化

目的		対象指標	指標名及び単位	24年度数値
対象(誰・何を)	地元EMC関連企業技術者		EMC関連企業数	30
意図(どういう状態にするか)	EMC技術が向上し、新製品や新技術がうまれ、企業が発展する。			
向上させたい上位施策の成果指標	既存事業者の出荷額(工業)飯田下伊那(億円)			

目標	種別	指標名及び単位	24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	EMCセンターの地元利用企業数	20	21			
	成果指標	EMCシンポジウム及び関連事業参加者数	80	101			
	定性目標						

事業概要

飯田EMCセンターを核にした研究テーマ別発表の機会を設けることで地域内外へのEMC対策技術の浸透を図ることを目的として開催する。電磁波影響防止技術に関して、学会や業界で指導的な立場にある講師を招いて年1回、シンポジウムを行う。
平成25年度より飯田産業技術大学事業へ統合する。

24年度事業内容

事業内容	名称	活動指標
1 第13回EMCシンポジウムIIDA2012の開催 期日:2012年10月25日～26日	1 参加者募集チラシ配布枚数	1 800枚
2 EMC委員会の開催	2 委員会開催回数	2 4回
3 EMC研究会の開催	3 研究会開催回数	3 1回

事業コスト	23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足
事業費計(千円)①	400	372	372	0	
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
一般財源	400	372	372	0	
人件費計(千円)②	179		358		
正規職員所要時間	50		100		
臨時職員所要時間					
総事業費①+②	579	372	730	0	

事業内容・目標達成状況の振り返り	新製品開発において、更に電磁波対策が必要となっているため、EMCセンターの利用企業数が増えた。また、EMCシンポジウムへ参加して、EMC技術の向上を図り、EMC問題を解決しようとする関連企業数も増えた。

改革改善の考え方		
	①問題点	事務の効率化を考慮し、人材育成として事業を一本化したい。
	②改革提案	人材育成事業の要である飯田産業技術大学事業に統合する。